

ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議案が議会運営委員会より出され、全会一致で可決されました(以下、決議全文)。

## ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、 恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われている最中、ロシア軍は、2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

さらに、ロシアは戦略核兵器の使用を示唆し、3月4日にウクライナのザポロギエ原発を攻撃した。こうした威嚇や挑発、そして攻撃はすべての人類と文明社会への敵対行為というほかなく、唯一の被爆国である我が国としては断じて看過できない。

よって、本市議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求めるものである。

令和4年3月15日

嘉麻市議会